

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立入野小学校

作成責任者 校長 徳満 謙三

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 高い倫理観と豊かな人間性をもっている
- 2 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている
- 3 専門性を発揮し、的確に職務を遂行できる
- 4 社会や子どもの変化に柔軟に対応できる

<決意>私たちは、「子どもたちを預かり、守り、育む」という職責を深く自覚し、不祥事を根絶します。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	不祥事防止に係る危機意識や当事者意識の向上を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な不祥事防止研修会を計画的に実施し、不祥事防止を継続して意識する。 ○使命感、倫理観を高め、全教職員が全児童の様子に関心をもって互いに意識し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○記者発表資料や教育委員会資料等を活用し、当事者意識の向上につながる主体的な研修を計画的に実施する。 ○自己の課題として捉えることができるよう、意見交流の場を設けるとともに、自己の行動に対する振り返りを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の不祥事防止委員会において、校内の状況を把握し、取組の成果や課題を分析する。 ○毎回の服務規律研修において、「不祥事防止のためのチャックリスト」で自己の行動を振り返る。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	不祥事につながり兼ねない事案に対する報告・連絡・相談を確実にできる体制づくりを行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○事案に対し、丁寧にかつ迅速に対応する。 ○不祥事防止委員会の内容の周知・徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションを大切にする事で報告・連絡・相談しやすい体制を構築し、課題や対応方法等を共有する。 ○全体で共通認識しておく必要のある事項に対して、暮会等で取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的なコミュニケーションと定期的な面談を実施する。 ○不祥事防止委員会やいじめ防止委員会等において情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	「体罰・セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について、認知度を高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰・セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室内への掲示や、学校だより等で保護者・児童に周知する。 ○児童アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連携を密に図り、教職員同士の情報共有を行う。 ○児童アンケートの結果を分析し、改善を図る。